



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 日本コークス工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 3315 URL <https://www.n-coke.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 弘明
問合せ先責任者 (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 奥苑 隆幸 TEL 03-5560-1311
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	20,193	△16.7	△263	—	△641	—	△696	—
2026年3月期第1四半期	24,243	△5.9	△740	—	△808	—	△1,159	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △765百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 △1,090百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△2.39	—
2026年3月期第1四半期	△3.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	128,285	34,032	26.5
2026年3月期	126,544	34,797	27.5

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 34,032百万円 2026年3月期 34,797百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2027年3月期の配当については未定です。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	45,800	△7.8	800	54.7	0	—	△800	—	△2.75
通期	101,600	11.2	3,600	493.1	2,000	—	500	—	1.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	302,349,449株	2026年3月期	302,349,449株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	11,326,687株	2026年3月期	11,326,610株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	291,022,820株	2026年3月期1Q	291,023,644株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善による、緩やかな回復がみられる一方、中東情勢の影響などによる原材料価格の変動等を注視する必要がある中で推移しました。

このような状況のもと、コークス事業においては、北九州事業所の安全操業を最優先課題としつつ、生産体制最適化に向けた取り組みを実施してまいりました。

最適化工事の進捗については、2026年5月15日公表の「コークス生産体制最適化工事完了に関するお知らせ」にて記載のとおり、原料炭装炭ルートの見直しを含む必要関連工事を当初想定よりも概ね1か月程度前倒して完工しました。本件により、新鋭2A炉のフル稼働、コークス炉の計画的な操業が可能となり、修繕費や炉団維持コストの削減等を通じた当該事業全体の効率・採算性の改善に向けて大きく前進させる事ができました。

既に足下では単月のコークス生産量が大幅に増加、事業所の操業も安定しており、生産体制最適化による効果を発揮しつつあります。前年同期比で営業損益は改善しており、第2四半期以降は、これまでの取組の効果が期中を通してフルに寄与することから、早期の黒字転換ができる見込みです。

コークス事業以外の各事業については、引続き当社グループを取り巻く環境変化に応じつつ安定的な収益を目指しております。燃料・資源リサイクル事業においては、顧客の事業転換による販売数量の減少などにより営業利益は減益となりました。今後も継続して、燃料転換へ向けた顧客の動きに応じつつ、私有港湾設備とコールセンターを活用した事業展開を行うほか、生産体制最適化によるヤードの有効活用も推し進めてまいります。総合エンジニアリング事業の主要事業である化工機事業においては、引続きティーマイスターミル（抹茶等茶葉粉碎機）の受注が好調であり、増収増益となりました。今後も、ニッチ分野の強みを活かした展開を推し進めてまいりますとともに、機器製作工程を内製化することで利益のグループ内取り込みを図るなど、当社グループ全体の事業ポートフォリオを下支えしてまいります。

このような取組の下、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比40億5千万円減少の201億9千3百万円、連結営業損益は、2億6千3百万円の営業損失（前年同期は7億4千万円の営業損失）、連結経常損益は、6億4千1百万円の経常損失（前年同期は8億8百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損益は6億9千6百万円の純損失（前年同期は11億5千9百万円の純損失）となりました。

（セグメントの概況）

コークス事業につきましては、前述の理由などにより、売上高は、前年同期比37億4千4百万円減少の120億8千2百万円、営業損益は、7億2百万円の営業損失（前年同期は14億1千4百万円の営業損失）となりました。

燃料・資源リサイクル事業につきましては、売上高は、前年同期比1千4百万円減少の52億6千3百万円、営業利益は、前年同期比2億5千8百万円減少の3億9千4百万円となりました。

総合エンジニアリング事業につきましては、売上高は、前年同期比8千1百万円増加の19億4千1百万円、営業利益は、前年同期比5千万円増加の4億1千1百万円となりました。

その他につきましては、売上高は、前年同期比3億7千3百万円減少の9億4百万円、営業利益は、前年同期比3千1百万円減少の8千9百万円となりました。

なお、当社連結子会社である三美鉱業株式会社が石炭採掘事業から撤退したことに伴い管理区分の見直しを行い、同社の報告セグメントを「燃料・資源リサイクル事業」から「その他」に変更しております。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、1,282億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億4千1百万円増加となりました。増減の主なものは、商品及び製品の増加33億3千2百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加7億1千1百万円、原材料及び貯蔵品の減少12億6千5百万円、現金及び預金の減少7億1千9百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、942億5千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億7百万円増加となりました。増減の主なものは、支払手形及び買掛金の増加31億8千5百万円、流動負債「その他」の減少6億8千2百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ、7億6千5百万円減少の340億3千2百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期中間期および2027年3月期通期の連結業績予想につきましては、前回（2026年5月15日）公表いたしました業績予想から修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,392	5,672
受取手形、売掛金及び契約資産	9,855	10,567
商品及び製品	10,495	13,828
仕掛品	1,136	1,453
原材料及び貯蔵品	16,736	15,471
その他	800	484
貸倒引当金	△22	△23
流動資産合計	45,395	47,454
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,551	25,586
減価償却累計額	△17,517	△17,688
建物及び構築物（純額）	8,034	7,897
機械装置及び運搬具	108,586	109,551
減価償却累計額	△76,100	△77,084
機械装置及び運搬具（純額）	32,486	32,466
土地	33,417	33,404
建設仮勘定	1,681	1,577
その他	3,032	3,082
減価償却累計額	△2,010	△2,080
その他（純額）	1,021	1,002
有形固定資産合計	76,640	76,349
無形固定資産		
その他	681	662
無形固定資産合計	681	662
投資その他の資産		
投資有価証券	1,757	1,690
繰延税金資産	1,308	1,362
その他	802	806
貸倒引当金	△41	△41
投資その他の資産合計	3,827	3,818
固定資産合計	81,149	80,830
資産合計	126,544	128,285

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,604	12,790
短期借入金	37,886	38,736
未払法人税等	397	107
賞与引当金	660	479
関係会社整理損失引当金	11	11
受注損失引当金	194	110
その他	5,794	5,111
流動負債合計	54,549	57,347
固定負債		
長期借入金	29,391	29,347
退職給付に係る負債	2,664	2,557
役員退職慰労引当金	43	—
環境対策引当金	4,045	4,045
その他	1,051	955
固定負債合計	37,196	36,906
負債合計	91,746	94,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	1,750	1,750
利益剰余金	26,090	25,394
自己株式	△1,209	△1,209
株主資本合計	33,630	32,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	801	738
繰延ヘッジ損益	△0	△2
退職給付に係る調整累計額	366	361
その他の包括利益累計額合計	1,166	1,097
純資産合計	34,797	34,032
負債純資産合計	126,544	128,285

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	24,243	20,193
売上原価	23,284	18,813
売上総利益	959	1,380
販売費及び一般管理費	1,699	1,643
営業損失(△)	△740	△263
営業外収益		
受取利息	5	22
受取配当金	21	37
助成金収入	158	36
その他	53	13
営業外収益合計	239	109
営業外費用		
支払利息	216	298
その他	90	189
営業外費用合計	307	487
経常損失(△)	△808	△641
特別利益		
固定資産売却益	49	30
受取精算金	—	215
その他	0	3
特別利益合計	49	250
特別損失		
固定資産除却損	237	209
その他	2	75
特別損失合計	240	284
税金等調整前四半期純損失(△)	△998	△675
法人税、住民税及び事業税	79	46
法人税等調整額	81	△24
法人税等合計	160	21
四半期純損失(△)	△1,159	△696
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,159	△696

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,159	△696
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60	△62
繰延ヘッジ損益	△1	△1
退職給付に係る調整額	10	△5
その他の包括利益合計	69	△68
四半期包括利益	△1,090	△765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,090	△765
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,511百万円	1,447百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料・資源リ サイクル事業	総合エンジニ アリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	15,827	5,277	1,860	22,965	1,277	24,243	—	24,243
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	2	614	617	89	707	△707	—
計	15,827	5,280	2,475	23,583	1,367	24,950	△707	24,243
セグメント利益又は 損失(△)	△1,414	653	360	△400	121	△278	△461	△740

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△461百万円は、セグメント間取引消去△13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△447百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2026年4月1日 至2026年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料・資源リ サイクル事業	総合エンジニ アリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	12,082	5,263	1,941	19,288	904	20,193	—	20,193
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	2	336	338	117	456	△456	—
計	12,082	5,266	2,277	19,627	1,022	20,649	△456	20,193
セグメント利益又は 損失(△)	△702	394	411	103	89	193	△456	△263

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△456百万円は、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△460百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(2) 報告セグメントの変更等に関する事項

当社連結子会社である三美鉱業株式会社が石炭採掘事業から撤退したことに伴い管理区分の見直しを行い、同社の報告セグメントを「燃料・資源リサイクル事業」から「その他」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものであります。